

あなたは、寂しくないですか

あなたは寂しくないですか。

ひとりぼっちを感じていませんか。

仕事も私生活も順調なのに、そして、自分の周りには、たくさんの友達がいいて、毎日が充実しているはずなのに、ふつと心に空洞を感じたことはありませんか。

仕事にどれだけのエネルギーを注いでいっても、お酒を飲んで、ゴルフのクラブを振り回して、歌を歌いまくっても、または、バーチャルの世界（仮想社会）に自分をのめり込ませても、どこか、何

か冷めている自分があることを感じませんか。

安心してください。

寂しいのは、あなたひとりだけではありません。

みんな寂しいのです。

人は、根源的に寂しいのです。

寂しいから、人は、絶えず、何かを求めてさ迷っています。

そして、寂しさをストレートに表現できる人もあれば、屈折した形で示していく人もあると思います。

しかし、ここでひとつ問題があります。

人は、「自分は寂しい」ということにも、なかなか気付けない場合

あなたは寂しくないですか

が多いのです。

「あなたは寂しくくないですか」と尋ねられても、「寂しい」とすぐに答えが返ってくることは少ないのです。

それは、本当は、寂しいって、どういうことか分からない人が多いからだと思います。

分からないまま、何かにエネルギーを傾けていってしまう、何かにのめり込んでいってしまう、こういうことではないでしょうか。

このまま行けば破滅だと感じていても、あえてその道を選んでしまうことだと思っています。

はたから見れば、何てバカなことと思うことも、そして、当の本人にも、なぜか分からない。だけど、どうにも止まらない、止め

られないことも、確かにあるように思います。

それでは、なぜ、人は、根源的に寂しいのでしょうか。

これが分かれば、人は、本当に寂しくなくなるのでしょうか。

私は、きっとそうなると思います。

本当に分かれば、そうです、心で分かれば、きっと根源的な寂しさに、グッドバイができると思います。

逆に言えば、そうならなければ、いつまでもどこまでも、寂しさを引きずっていくのです。

寂しさを引きずりながら、それを癒すもの、それを紛らわすものを探し求め続けるのだと思います。

あなたは寂しくないですか

愛、優しさ、温もりを、人は求めます。

しかし、寂しさを引きずりながらでは、決して本当の愛は分からない、そして、本当の優しさも温もりも分からないのです。

本当のところ分からないから、結局は寂しさを引きずっていくと、私は思うのです。

根源的な寂しさから、永久的に、抜け出すことはできないと思います。

では、「あなた自身、今、寂しくないのですか」と、誰かに尋ねられたら、私は、いったいどのように答えるでしょうか。

『全然、寂しくないと言えば、嘘になります。』

まだまだ、寂しい心、寂しい私自身がたくさんあるでしょう。

しかし、数年前の私と比べれば、雲泥の差です。

寂しさの強弱には、天と地ほどの差があります。

私は、寂しい心をつぱい抱えて生まれてきました。

しかも、寂しいって言えずにずっと存在していたことを、私は、

私の心で知ったのです。

そして、なぜ寂しかったのかを知ったから、また、ではどうすればいいのかということも分かったから、今は本当に幸せなのです。』

これが、私の今の偽らざる思いです。

あなたは寂しくないですか

ところで、私の今の文章をスムーズに読めない人もあると思います。

例えば、

「寂しい心をいっぱい抱えて生まれてきたとはどういうこと」、

「ずっと存在していたとはどういうこと」、

「心で知るとはどういうこと」、

というように、短い文章の中にも、何かなじみがないような、しつくりとこない表現があると思います。

その人達に向けて、次の章で、ほんの少しだけ説明します。